

# 大鳥圭介関係史料目録

# 大鳥圭介関係史料目録

## 凡例

一、本目録は学習院大学史料館が所蔵する「大鳥圭介関係史料」の目録である。史料群の来歴等については「大鳥圭介関係史料について」(『学習院大学史料館紀要』第一八号 二〇一二年三月)を参照していただきたい。

一、大鳥圭介関係史料は、大鳥蘭三郎氏(圭介孫)より寄贈されたもの、当館で購入したもの、寄贈を受けたもので構成される。

一、史料は「一、圭介差出書簡」「二、書簡(圭介差出以外)」「三、日記・記録」「四、写真」「五、書籍」「六、系図・家譜」「七、絵画・和歌」「八、領収書等」「九、上郡関係」の項目に分類した。なお、書簡、日記・記録については内容より年代推定を行った。

一、記載内容は「年月日」、「西暦」、「史料名」、「作成(差出)」、「宛名(受取)」、「内容」、「形態」、「数量」、「備考」、「付記事項」、「紀要等掲載物」、「請求番号」の順序に情報を掲載している。

一、年号は原史料表記にかかわらず十→一〇、十一→一一のように表記した。

一、「史料名」欄は原史料の通り記し、表題がない史料については仮表題を記し、( )内に記載した。ただし、書簡については書簡と記した。

一、「内容」は概略を記した。

・書簡の翻刻は近松鴻二当館客員研究員が担当した。書簡翻刻は『学習院大学史料館紀要』第一八号より『学習院大学史料館紀要』第一二二号に順次掲載予定である。

・日記については、福本龍著『明治五年・六年大鳥圭介の英・米産業視察日記』(平成一九年(二〇〇七)六月三〇日 国書刊行会)において一部が内容紹介されている。

・「南柯紀行」の翻刻は、藤實久美子当館客員研究員が担当した。「南柯紀行」翻刻は『学習院大学史料館紀要』第一八号より順次掲載予定である。

・「大鳥圭介肖像・葬儀写真」は学習院大学史料館編『幕末明治の古写真 激動の時代を生きた人々』(平成一七年(二〇〇五)三月)に掲載されている。

一、「備考」は年代推定根拠や同封事項などについて記した。

一、「付記事項」には封筒の有無、史料の大きさ等を記した。

一、「紀要等掲載物」には、本史料が掲載されているものを記した。なお、書籍については、『国書総目録』(岩波書店 一九九二)に掲載されている所蔵先等を記した。

一、「請求番号」は本史料の史料番号である。閲覧等の場合は、この番号により請求していただきたい。

一、本目録の作成にあたり、兵庫県赤穂郡上郡町「大鳥圭介資料館」の方々に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

一、本目録の作成には、歴代の当館助手・囑託・アルバイト等が従事した。最終的な校訂は長佐古美奈子が行った。

一、圭介差出書簡

| 年月日          | 西暦   | 史料名 | 作成(差出)              | 宛名(受取)                         | 内容  | 形態 | 数量 | 備考                     | 付記事項 | 紀要等<br>掲載物     | 請求<br>番号 |
|--------------|------|-----|---------------------|--------------------------------|---|----|----|------------------------|------|----------------|----------|
| 明治二十九年二月二十九日 | 一八九六 | 書簡  | 神奈川県<br>国府津<br>大島圭介 | 台湾台北総督府<br>民政局長外事務課<br>大島富士太郎殿 | 富士太郎が無事着台したことと参事官拝命を祝す。圭介と富士太郎夫人良子の近況を伝える。台湾総督府参事官榊山資英の帰京と、台湾出兵に参加した杉村濬から聞いた台湾の話、朝鮮混戦の情勢などを記す。官吏としての心得を説く。富士太郎の台北県書記官拝命を祝す。家族の近況、杉村濬が台湾総督府事務官二等官を拝命し、近く赴任するので依頼の品を託す旨。国内の政治情勢および朝鮮・欧州・アフリカの情勢を記す。   | 状  | 1  |                        | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>① | 04559    |
| 明治二十九年四月二十六日 | 一八九六 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介        | 台湾台北県<br>大島富士太郎殿               | 富士太郎の痔疾全快を祝す。撰養専一のこと、東京はじめ諸県の天候不順の模様、家族の近況を伝える。   | 状  | 1  |                        | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>② | 04560    |
| 明治二十九年五月一六日  | 一八九六 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介        | 台湾台北県庁<br>大島富士太郎殿              | 富士太郎の痔疾全快を祝す。撰養専一のこと、東京はじめ諸県の天候不順の模様、家族の近況を伝える。   | 状  | 1  |                        | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>③ | 04562    |
| 明治二十九年六月一九日  | 一八九六 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介        | 台湾台北府<br>大島富士太郎殿               | 東京は梅雨中、昨日は夏のような気温であった。過日淡水支庁長を拝命の由、同地は海岸なので少しは涼しいのでは。先日伊藤博文総理と西郷従道海軍大臣が訪台したので、その時の景況を聞きたい。東京の形勢別段面白いことはない。家族の近況を伝える。  | 状  | 1  | 封筒に台北県庁へ配達すべき旨の貼紙二つあり。 | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>④ | 04561    |
| 明治二十九年八月三〇日  | 一八九六 | 書簡  | 国府津<br>大島圭介         | 台湾台北府<br>大島富士太郎殿               | 庁中で死者が出たようだが、健康で何より。国府津の別荘に滞在中。来月一、二週間ほど出京して橋口氏と会い色々聴くつもりである。近々内閣が替わり、黒田清隆が総理大臣になりそうだ。若し余裕があれば為替にて送金願いたい。   | 状  | 1  |                        | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>⑤ | 04577    |
| 明治二十九年九月一三日  | 一八九六 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介        | 台湾台北府<br>大島富士太郎殿               | 大阪以東岐阜・愛知県洪水甚しく、福井県、東北方水害発生のこと。良子の渡台の件、実父齋藤良知氏が拓殖務省に奉職し、近日中に台湾へ出発することになったので、同伴で、本月二三日日本郵船にて神戸出帆の旨。  | 状  | 1  |                        | 封筒とも | 紀要<br>20号<br>① | 04576    |
| 明治二十九年一〇月七日  | 一八九六 | 書簡  | 東京府麻布<br>大島圭介       | 台湾台北県庁<br>大島富士太郎殿              | 良子は九月二六日出発し、寄港地の神戸・宇品状より手紙が着た。富士太郎が参事官に転任し、淡水庁長を兼任への慶賀。富士太郎の内地転任の志、尤もであるが、考えものもある。榊山資紀氏が内務大臣になり、西郷従道氏も秘書官になった。しかし、今度の松方正義内閣は色々諫論が万全とは言えないので、今暫く形勢を观望した方がよい。橋口氏にも面会し、富士太郎の件を内談する旨。桂太郎台湾総督は辞職を決心し、次は奥保璋中将が任命との評判、興亜会の創立者曾根俊虎氏が来訪。伊崎良熙中佐が今度越後村松へ第三十聯隊長として赴任することなどについて。 | 状  | 1  |                        | 封筒とも | 紀要<br>20号<br>② | 04575    |
| 明治二十九年一〇月三日  | 一八九六 | 書簡  | 国府津<br>大島圭介         | 台湾台北淡水支庁<br>大島富士太郎殿            | 富士太郎夫人良子無事台湾着、重畳である。気候不慣れ故健康第一に。乃木希典中将が台湾総督に就任したので、人事の更新があり、富士太郎の内地転任の可能性がある。自分は大隈重信と懇意なので、なんとなく匂わせておくので、来春まで辛抱するように。   | 状  | 1  |                        | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>⑥ | 04557    |

| 年月日        | 西暦   | 史料名 | 作成(差出)              | 宛名(受取)              | 内容   | 形態 | 数量 | 備考    | 付記事項 | 紀要等<br>掲載物<br>番号 | 請求<br>番号 |
|------------|------|-----|---------------------|---------------------|--|----|----|-------|------|------------------|----------|
| 明治二九年一月二五日 | 一八九六 | 書簡  | 国府津<br>大島圭介         | 台湾台北淡水支庁<br>大島富士太郎殿 | 学習院生徒一柳讓二が台湾貿易株式会社員として出張につき、紹介状を付す。同人の父(一柳末徳氏)とは懇意なので、周旋を依頼  | 状  | 1  | 冒頭部外れ | 封筒とも | 紀要<br>20号<br>③   | 045-58   |
| 明治二九年一月九日  | 一八九六 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介        | 台湾淡水支庁<br>大島富士太郎殿   | 家族無事。一〇月末に帰京、一月三日の天長節に陪席、一日の菊花の宴に拝宴した。台湾でベスト流行の由、大いに心配している。内地転任の件は十分承知している。この後、子供達を連れて国府津へ行き、例の蜜柑を賞玩する。  | 状  | 1  |       | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>⑦   | 045-56   |
| 明治二九年一月二〇日 | 一八九六 | 書簡  | 神奈川県<br>国府津<br>大島圭介 | 台湾淡水支庁<br>大島富士太郎殿   | 台湾で熱病流行のこと新聞紙上に出ているが、壯健の由一同大喜びしている。内地奉職・外省への然るべき口のこと尽力する。誕生した六女の鴻、すこぶる肥大にて壯健である。   | 状  | 1  |       | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>⑧   | 045-58   |
| 明治二九年二月二八日 | 一八九六 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介        | 台湾淡水支庁<br>大島富士太郎殿   | 東京は寒気が増し、ストーブを焚いている。送付の銀製の飾り物、子供達が大喜びしている。依頼のゴム合羽などは速やかに買い調える。齋藤老人の病気は心配である。内地あるいは外国への転任のことは彼は考慮中。年末年始は国府津で過ごすつもり。                                   | 状  | 1  |       | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>⑨   | 045-59   |
| 明治三〇年五月二二日 | 一八九七 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介        | 台湾澎湖島庁<br>大島富士太郎殿   | 六月中旬まで澎湖島出張の由、同島の風習など知らせてほしい。為替金百三三円落手。過日鉦毒の検査師の内訌やお茶の水の殺人事件のこと新聞紙上を賑わしている。台南でベスト流行の事、心配している。  | 状  | 1  |       | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>⑩   | 045-40   |
| 明治三〇年五月二三日 | 一八九七 | 書簡  | 神奈川県<br>国府津<br>大島圭介 | 台湾澎湖島庁<br>大島富士太郎殿   | 和哥・鴻両児流行の麻疹に罹ったが、無事平癒。富士太郎の将来のことについては熟慮中。官報に総督秘書官兼参事官への転任の事が載り、大慶である。三年辛抱すれば、道が開ける。富士太郎の所得税を半季分払い入れた。二日に国府津に来て、毎日近郊を散歩して面白く暮らしている。                   | 状  | 1  |       | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>⑪   | 045-41   |
| 明治三〇年六月六日  | 一八九七 | 書簡  | 神奈川県<br>国府津<br>大島圭介 | 台湾澎湖島庁<br>大島富士太郎殿   | 家族無事。乃木総督七月中に上京の由、富士太郎が随行できれば一同大喜びである。台北会計課の曲事杉山氏などが関係しているとか、驚いている。東京にても鉦毒検査員の争いも一段落したが、遠からず難題が起こりそうだ。台南のベストの件一同心配している。                              | 状  | 1  |       | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>⑫   | 045-51   |
| 明治三〇年九月一三日 | 一九一七 | 書簡  | 神奈川県<br>国府津<br>大島圭介 | 台湾台北府<br>大島富士太郎殿    | 基隆安着の由、一同安堵、撰養専一に。子供達八日曉暴風雨に襲われ、終夜戸扉を押さえていた。国府津・東京の宅ともに特に被害はなかったが、東海道筋は大きな被害を生じた。乃木総督から然るべき伝言があったが、杉村氏の身分について状況がよくわからないので手の打ちようがない。委しいことを知らせてほしい旨など。 | 状  | 1  |       | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>⑬   | 045-44   |

| 年月日         | 西暦   | 史料名 | 作成(差出)              | 宛名(受取)                        | 内容  | 形態 | 数量 | 備考 | 付記事項 | 紀要等<br>掲載物     | 請求<br>番号 |
|-------------|------|-----|---------------------|-------------------------------|---|----|----|----|------|----------------|----------|
| 明治三〇年一〇月四日  | 一八九七 | 書簡  | 国府津<br>大鳥圭介         | 台湾台北総督府<br>民生局<br>大鳥富士太郎殿     | 今回の暴風雨国府津の庭前の小川の岸が崩れ修繕に三〇〇円懸った。良子夫人前々からの英語の稽古も十分にはできないであろう。富士太郎の将来のこと、樺山氏に内話するつもり。今暫く台湾で形勢を見た上で、方向を立てるのがよいと思う旨など。     | 状  | 1  |    | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>⑭ | 045-12   |
| 明治三〇年一月三日   | 一八九七 | 書簡  | 東京麻布<br>大鳥圭介        | 台湾総督府<br>大鳥富士太郎殿              | 先便の内地転勤のこと、尤もであるが、今の内閣の状況ではなかなか難しいので今暫く耐忍してほしい。過日杉村氏が来訪した。台湾のことや、彼自身の事を聴いた。県知事へ転任の説もあるが、内情のことは分からない。                  | 状  | 1  |    | 封筒とも | 紀要<br>18号<br>⑮ | 045-14   |
| 明治三二年四月一八日  | 一八九八 | 書簡  | 東京麻布<br>大鳥圭介        | 台湾台北総督府<br>大鳥富士太郎殿            | 台湾へ無事に帰任した旨の慶賀、富士太郎妻良子は小石川の実家へ里帰りしている旨、自分も墓参りのため、帰郷する旨など。   | 状  | 1  |    | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>① | 045-13   |
| 明治三二年七月一日   | 一八九八 | 書簡  | 神奈川県<br>国府津<br>大鳥圭介 | 台湾台北民政局<br>官舎二種第六号<br>大鳥富士太郎殿 | 富士太郎が五月以来二度マラリアに罹っていることを心配し、直ちに帰京するように電報を打った旨。病氣療養のための一時帰京が許されなければ、辞職してでも帰京するように。                                     | 状  | 1  |    | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>② | 045-17   |
| 明治三二年七月七日   | 一八九八 | 書簡  | 東京麻布<br>大鳥圭介        | 台湾台北総督府<br>民生局官舎<br>大鳥富士太郎殿   | 過日来台湾での官吏の罷免が多くなっているのに、辞職は面白くない時期だが、身体にはかえがたいので、熟考するように。東京は暑いので、舞子辺りで療養したらどうか。  | 状  | 1  |    | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>③ | 045-18   |
| 明治三二年八月一日   | 一八九八 | 書簡  | 神奈川県<br>国府津<br>大鳥圭介 | 台湾台北総督府<br>二種六号官舎<br>大鳥富士太郎殿  | 富士太郎妻良子が九月頃に渡台したいと希望している。杉村藩氏が帰台の折の同行を考えている。兄玉源太郎台湾総督の出京状況の問い合わせの旨など。   | 状  | 1  |    | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>④ | 045-19   |
| 明治三二年八月二八日  | 一八九八 | 書簡  | 神奈川県<br>国府津<br>大鳥圭介 | 台湾台北二種六号<br>官舎<br>大鳥富士太郎殿     | 台湾では八月七日、八日に暴風風があり、多数の死傷者が出たことへの驚き。良子の渡台同行者と考えていた杉村藩氏の帰任が疑わしくなってきた旨。富士太郎の高等官五等の昇叙上奏への慶賀。                              | 状  | 1  |    | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>⑤ | 045-16   |
| 明治三二年九月一六日  | 一八九八 | 書簡  | 東京島居坂<br>大鳥圭介       | 台湾台北二種七号官舎<br>大鳥富士太郎殿         | 良子の渡台の同行者がなく、困っていること。兄玉源上京に富士太郎が随行するようであれば、良子の渡台を延期するので、予定がわかり次第知らせしてほしい旨。また、富士太郎の病気が再発し、休暇取得が難しいようであれば、辞職もやむを得ない旨など。 | 状  | 1  |    | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>⑥ | 045-15   |
| 明治三二年一〇月一八日 | 一八九八 | 書簡  | 国府津<br>大鳥圭介         | 台湾台北総督府<br>官舎<br>大鳥富士太郎殿      | 良子が無事台湾につき安堵した。後藤新平が台湾より帰京し、来訪したので、台湾の状況を聞いた。国府津の別荘を引き上げ、東京の本宅へ戻る。本宅は鈴木鈴が家事をすることになった旨など。                              | 状  | 1  |    | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>⑧ | 045-13   |
| 明治三二年一月一五日  | 一八九八 | 書簡  | 東京麻布<br>大鳥圭介        | 台湾台北総督府<br>二種七号官舎<br>大鳥富士太郎殿  | 一月初旬に立見尚文中将と太田、横沢氏が来訪したので、台湾の状況を聞いた。(一月八日に)山縣有朋が総理大臣になったが、山縣総理と兄玉源は縁故があるので、富士太郎には都合がよいであろう旨など。                        | 状  | 1  |    | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>⑨ | 045-12   |

| 年月日         | 西暦   | 史料名 | 作成(差出)       | 宛名(受取)                        | 内容   | 形態 | 数量 | 備考   | 付記事項 | 紀要等<br>掲載物     | 請求<br>番号 |
|-------------|------|-----|--------------|-------------------------------|--|----|----|--|------|----------------|----------|
| 明治三十二年一月二四日 | 一八九八 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介 | 台湾台北民政部<br>第二種七号官舎<br>大島富士太郎殿 | 後藤氏が、四、五日の内に帰台する旨、政局の大舞台の早変わりにより、政務が滞って大迷惑かと察する。榊山資紀氏が文部大臣に就任した旨など。                                | 状  | 1  |  | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>⑩ | 045-13   |
| 明治三十二年二月七日  | 一八九八 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介 | 台湾台北第二種七号官舎<br>大島富士太郎殿        | 齋藤老人が二月九日に出発した旨。台湾総督勤務の高橋昌氏が近日中に台湾に向かわれるので、頼まれた股引を託した旨。地租改正の件が近々決まれば、米価が下がり、貧民が大幸福。地主が困るであろう旨など。   | 状  | 1  |  | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>⑪ | 045-14   |
| 明治三十二年一月二日  | 一八九九 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介 | 台湾台北二種七号官舎<br>大島富士太郎殿         | 元日に先の將軍徳川慶喜様に拝顔し、誠に懐慕の感に堪えなかつたこと。議会で増税案が両院を通過した旨。後藤新平台湾民政局長に面会した旨。台湾原住民の叛乱がなかなか終息しない旨など。           | 状  | 4  | 同封一…三男六三より長兄大島富士太郎・良子夫妻宛書簡<br>同封二…鈴木鈴より大島良子宛書簡<br>同封三…五女いなより大島良子宛書簡  | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>⑫ | 045-15   |
| 明治三十二年一月三日  | 一八九九 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介 | 台湾台北第二種七号官舎<br>大島富士太郎殿        | 政界は一時沈静しているが、閉会後多少の波風状変動がありそうである旨。勝海舟が去る一九日に亡くなり「法螺之大將軍」を失った。都鄙とも米価が下落したが、購買力がなく不景気である旨など。         | 状  | 3  | 同封一…鈴木鈴より大島良子宛書簡<br>同封二…いなより大島良子宛書簡  | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>⑬ | 045-16   |
| 明治三十二年三月一日  | 一八九九 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介 | 台湾台北第二種七号官舎<br>大島富士太郎殿        | 野村清國氏の奉職について。昨二八日は圭介の六八歳の誕生日で、親戚一同が小宴会をし、祝ったこと。議会は三月九日まで延長となり、議員歳費二千円増額が内定したことへの嘆息。                | 状  | 1  |  | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>⑭ | 045-18   |
| 明治(三二)年三月二日 | 一八九八 | 書簡  | 国府津<br>大島圭介  | 台湾台北総督府<br>民政局<br>大島富士太郎殿     | 榊山資紀氏へ面晤した。杉村藩氏が台湾総督府外事課々長として近日赴任予定。榊山が再び台湾へ参るのか、あるいは拓殖大臣とに就任するのかしかと不明。朝鮮が紛糾しており、新政府は長持しないであろう旨など。 | 状  | 3  | 年次不載、添付の切手が二銭であることから、明治三十二年四月以前と推定。杉村藩は三二年に台湾総督府事務官より外務省通商局長に復職することから、明治三二年と推定。<br>同封一…大島富士太郎宛大島良子書翰 明治三二年九月二九日 帰京の件について、父上も色々御心配し、榊山氏杉村氏に相談している。翻訳官もあまり面白い御仕事ではなさそうだとの事。いずれ御満足できる口があつてから帰京した方がよいのではないか。自分はいつでも台湾へ行くので、どのような決心するか返事を聞きたい旨。<br>同封二…大島富士太郎宛大島良子書翰 明治三二年十月一日 自分の渡台はいつでもよく、なるべく早くいきたいが、富士太郎の決心次第である。父上の話によれば大臣の変動がありそうなので、良い就職口があるかも知れない旨。 | 封筒とも | 紀要<br>20号<br>④ | 045-19   |

| 年月日         | 西暦   | 史料名 | 作成(差出)        | 宛名(受取)                    | 内容   | 形態 | 数量 | 備考   | 付記事項 | 紀要等<br>掲載物     | 請求<br>番号 |
|-------------|------|-----|---------------|---------------------------|--|----|----|--|------|----------------|----------|
| 明治三十三年九月二七日 | 一八九九 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介  | 台湾台北総督府<br>大島富士太郎殿        | 富士太郎の今後の方向性について、三案。一…秘書官を継続して時期を待つこと、二…高等文官試験を受けること、三…外務省で翻訳官を勤め、四年後尋常の高等官の位置を得ること。いずれか熟考すること。本日樺山資紀に面会し、富士太郎の職について周旋を依頼したが、樺山氏の話では秘書官の口もない。履歴書を回すように。杉村氏にも相談し、翻訳官をすすめるられたが、面白い仕事ではないらしい。近日中に総督にも問い合わせするつもりである旨など。 |    | 1  |  | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>⑮ | 045-71   |
| 明治三十三年一月二〇日 | 一八九九 | 書簡  | 相州国府津<br>大島圭介 | 台湾台北総督府官舎<br>大島富士太郎殿      | 神戸でベストが発生したこと。杉村氏が樺山文部大臣に富士太郎奉職を依頼した。外務省秘書官に欠員はないが、圭介から青木周蔵外務大臣に直談すればなんとかなるかもしれないとのこと。富士太郎が秘書官で良いのであれば、青木大臣に依頼するので、速やかに知らせるよう。   |    | 1  |  | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>⑯ | 045-88   |
| 明治三十三年二月一六日 | 一八九九 | 書簡  | 東京<br>大島圭介    | 台湾台北二種七号官舎<br>大島富士太郎殿     | 富士太郎が外務秘書官高等官四等以上の職を希望していることに対し、こちらから杉浦氏、樺山大臣、青木大臣へ依頼していることであり、条件等を申し出ることには難しい旨論す。圭介の意見は一…現職を辞めて、帰京の上外交官試験を受ける、二…無条件で秘書官に転任、三…官途を去り民間の会社に入ること。   |    | 2  | 同封…追啓昨夜熟考し、このまま外務秘書官に転任し、ついで外交官試験を受験するのがよい。異存がなければ青木大臣へ内談する。 | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>⑰ | 045-72   |
| 明治三十三年二月二八日 | 一八九九 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介  | 台湾台北官舎<br>大島富士太郎殿         | 先の手紙で記した件、青木大臣更迭の噂があるので、富士太郎の進退についてはもう少し猶予が必要である旨。本日御陪食を仰せ付けられた旨など。  |    | 1  |  | 封筒とも | 紀要<br>19号<br>⑱ | 045-73   |
| 明治三十三年三月一九日 | 一九〇〇 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介  | 台湾台北二種七号官舎<br>大島富士太郎殿     | 先月二五日赤十字病院に持病の痔疾のため入院した。手術するほどではなく、転地静養すればよい旨、国府津へ行き、湯河原温泉で入浴しようと考えている旨。富士太郎が台湾での職を今夏にも見切り、外交官試験を受けるとのことに異存はないが、前後の形勢等を見据えて無理に急ぎがないように。  |    | 1  |  | 封筒とも | 紀要<br>20号<br>⑤ | 045-67   |
| 明治三十三年五月九日  | 一九〇〇 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介  | 台湾台北総督府第二種七号<br>大島富士太郎殿   | 華族に列し、男爵に叙せられた報告。富士太郎源太郎も七日に東京帰着なので近日中に相談する旨。  |    | 1  |  | 封筒とも | 紀要<br>20号<br>⑥ | 045-50   |
| 明治三十三年五月二〇日 | 一九〇〇 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介  | 台湾台北総督府第二種七号官舎<br>大島富士太郎殿 | 台湾よりの蜜柑の苗、無事到着。長谷川によれば、必ず根生付くだろうとの事。本日兄玉総督を訪問し、富士太郎の転任の件の話をした旨。家の新築、バナナの件など。   | 状  | 1  |  | 封筒とも | 紀要<br>20号<br>⑦ | 045-52   |

| 年月日         | 西暦   | 史料名 | 作成(差出)       | 宛名(受取)                   | 内容  | 形態 | 数量 | 備考 | 付記事項           | 紀要等<br>掲載物<br>番号 | 請求<br>番号 |
|-------------|------|-----|--------------|--------------------------|---|----|----|----|----------------|------------------|----------|
| 明治三十三年九月七日  | 一九〇〇 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介 | 台湾台北総督府官<br>舎<br>大島富士太郎殿 | 台湾総督府民政長官後藤新平が着京した。義和団の乱も一段落で、此後は、どういう政策をとるかが大切である。厦門の形勢が不穏で、御多忙と思うが、勉職を専一にし、進退を考えるように。家の新築、日本家屋が出来上がったので引き移った旨。黒田清隆伯爵が死去し、残念である。   | 状  | 1  |    | 封筒とも           | 紀要<br>20号<br>⑧   | 045-69   |
| 明治三十三年九月一日  | 一九〇〇 | 書簡  | 東京<br>大島圭介   | 台湾台北総督府官<br>舎<br>大島富士太郎殿 | 富士太郎の従五位位記写し送付。   | 状  | 2  |    | 封筒とも           | 紀要<br>20号<br>⑨   | 045-68   |
| 明治三十三年一〇月三日 | 一九〇〇 | 書簡  | 東京麻布<br>大島圭介 | 台湾台北総督府官<br>舎<br>大島富士太郎殿 | 新宅は色々便宜工夫が凝らされており、電灯がつき、各室は白昼のようだと子供も大喜びである。洋館の方は、なお工事が残っている。富士太郎が従五位に叙され、天皇陛下に拜謁、天盃下賜について爵位局より問い合わせがあったが、台湾に在職中であるため、いずれ出京時に式を行うとのこと。内閣が変わりそうであるが、結局伊藤博文が引き受けざるを得ないであろう。そうならば高等文官任用令の改正が絡み、富士太郎に有利になるだろう旨など。 | 状  | 1  |    | 封筒とも           | 紀要<br>20号<br>⑩   | 045-70   |
| 明治四十二年二月一日  | 一九〇九 | 書簡  | 国府津<br>大島圭介  | 東京本郷曙町三番<br>宮崎言成様        | 掛軸の選別を頼まれたが、国府津へ戻ったので、三月に帰京するまで待つてほしい旨など。   | 卷子 | 1  |    | 木箱とも<br>封筒とも表装 | 紀要<br>20号<br>⑪   | 045-40   |

二、書簡(圭介差出以外)

|              |      |    |                         |                             |   |   |   |   |                 |                   |        |
|--------------|------|----|-------------------------|-----------------------------|---|---|---|---|-----------------|-------------------|--------|
| 明治二十七年六月九日   | 一八九四 | 書簡 | 内田定槌                    | 大島公使閣下                      | 日清戦争開戦直前に、朝鮮京城領事館の内田定槌から大島圭介公使宛ての書翰。清国の朝鮮出兵の機運に対し、日本軍の京城入京を要請する。                          | 状 | 1 | 包紙は反古紙転用(そしな牧野英子)。                                      | 包紙あり            | 紀要<br>21号掲<br>載予定 | 045-87 |
| 明治三十三年一〇月三日  | 一八九〇 | 書簡 | 神戸海岸棧<br>橋常盤宅<br>大島富士太郎 | 東京市小石川区表<br>町九十八番地<br>齋藤良知殿 | 英国留学に向かう航海で、日本最後の寄港地神戸から、のちに結婚する齋藤良知の実父への書翰。翌日の上海への出帆を控え、親族・従弟と名残りを惜しむとともに、齋藤氏家族への心遣いを記す。 | 状 | 1 |   | 封筒とも            | 紀要<br>21号掲<br>載予定 | 045-91 |
| 明治三十三年一〇月三日  | 一八九〇 | 書簡 | ふじ(大島<br>富士太郎)          | およし(齋藤良知)<br>宛              | 英国留学出発の前に、良知に対する熱い心情と英国に於ける勉学に励む決意を記す。  | 状 | 1 | 年次不載、記載内容から明治二十三年一〇月と推定。一三日晩とあることから、045-91と同封であったと思われる。 |                 | 紀要<br>21号掲<br>載予定 | 045-90 |
| 明治三十三年一〇月三〇日 | 一八九〇 | 書簡 | よし子                     | ふじ太郎様                       | 英国留学に向かう富士太郎に対し日本出発前後の様子が無事安着を願って浅草寺へ行ったことなど近況を知らせる。                                      | 状 | 1 | 年次不載、文中の齋藤良知宛て書翰。大島圭介の在清国の記載などから明治三十三年と推定。              | 多色刷春景料<br>紙複合使用 | 紀要<br>21号掲<br>載予定 | 045-81 |
| 明治三十四年二月二十七日 | 一八九四 | 書簡 | ふじたろう                   | 尊大人(父圭介)                    | 英国留学中の富士太郎から書翰。父の朝鮮公使就任につき、苦勞を心配するとともに、独自の外交観を吐露する。アメリカ経由で帰国する旨の諒解を得る。                    | 状 | 5 | 045-88、045-89は包紙で一括。                                    | 包紙とも<br>罪紙使用    | 紀要<br>21号掲<br>載予定 | 045-88 |



| 年月日         | 西暦         | 史料名 | 作成(差出)   | 宛名(受取)                  | 内容  | 形態  | 数量 | 備考  | 付記事項              | 紀要等               | 請求番号  |
|-------------|------------|-----|--|-------------------------|---|-----|----|---|-------------------|-------------------|-------|
| 明治二四年一月三〇日  | 一九一一年一月三〇日 | 書簡  | 大鳥富士太郎   | およし(齋藤良子)様              | 英国留学中の富士太郎から、良子への本心からの想い及び近況と将来の展望を記す。  | 状   | 6  | 年次不載、一〇月二八日の濃尾地震の記載があるので明治二四年と推定。   | 野紙使用              | 紀要<br>21号掲<br>載予定 | 04586 |
| 明治二二年一月一六日  | 一九八九       | 書簡  | 東京本郷三ノ廿三<br>大鳥次郎   | 台湾台北六号第二種官舎 大鳥富士太郎様     | 夏休みには伊豆戸田の水泳場に行き、皇太子(大正天皇)も数回来臨した旨。奥田氏(長女ひな一家)が転宅したため麻布の本宅は「空」になったが、「空」にしておくのは父上(圭介)にとっても都合なので、富士太郎兄が帰京し、家事を見られるように希望する旨。良子姉が十月一四日に無事に台湾へ着いたことの慶賀を記す。 | 状   | 1  | 年次不載、貼付の切手から明治三二年以前と推定。   | 封筒とも              | 紀要<br>19号⑦        | 04583 |
| 明治三二年一月一八日  | 一九九九       | 書簡  | 小石川表町五六<br>木下常   | 牛込加賀町二ノ十三<br>大鳥良子様      | 昨年未大鳥家が牛込区加賀町へ転宅したとの書翰に対する返書。返事が遅くなった詫びと近況を伝える。   | 状   | 1  |   | 封筒とも              | 紀要<br>21号掲<br>載予定 | 04585 |
| 明治三三年九月九日   | 一九〇〇       | 書簡  | 東京麻布東舎<br>大鳥内(壽(すけ))   | 台北第二種七号官舎<br>大鳥良子様      | 御依頼の品取り揃えること。依頼のコートの色上げは黒にする諒解を得る。新築の家に引き移ったことや、良子の義姉の懐妊を伝えるとともに、良子自身が懐妊したら知らせしてくれるよう依頼する。  | 状   | 1  |   | 封筒とも              | 紀要<br>21号掲<br>載予定 | 04584 |
| 明治二六年       | 一九〇三       | 書簡  | 猪苗子  | 御姉上様                    | 夫君大鳥富士太郎の外遊(行先未詳)に随行する義姉良子宛の書翰。航海中の困難に同情を寄せる。   | 状   | 1  | 年次不載、文中に明治三六年生まれの大鳥富士太郎の長男・圭三が「圭ちゃん」と記されているので、それ以降と推定。差出人の猪苗子は富士太郎の実妹「いな」と推定。 | 封筒とも<br>(大鳥家家紋入り) | 紀要<br>21号掲<br>載予定 | 04580 |
| 明治四〇年一月一八日  | 一九〇七       | 書簡  | Via<br>Londier et<br>aveingue<br>Majame<br>F.Olori<br>Tokio<br>Japon<br>(大鳥富士太郎) | 東京小石川表町九八 齋藤様方<br>大鳥良子様 | 留学先のロンドンから妻良子への書翰。旅順の忠魂碑建立寄附に賛同する。該地の日本風の生活ぶりや知人の動向を伝える。また、仕送りに関する心配を記す。歌三首を付す。   | 状   | 2  |   | 封筒とも              | 紀要<br>21号掲<br>載予定 | 04596 |
| 明治(四〇)年五月三日 | 一九〇七       | 書簡  | (齋藤)力  | 姉上様                     | 香港に転居した姉大鳥良子に宛てた齋藤力よりの書翰。大学卒業を控え、横浜正金銀行就職の見込みや将来の展望など自身の近況、良子の実家齋藤家や婚家大鳥家の状況を伝える。   | 状   | 1  | 年次不載、文中に中村是公氏の関東都督就任の記載があることから明治四〇年と推定。差出人の力は良子の実弟。                           |                   | 紀要<br>21号掲<br>載予定 | 04574 |
| 昭和七年二月一〇日   | 一九三二       | 書簡  | 上田市厩裏町<br>佐藤甫郎様  | 東京市千駄谷町向山四九 前田庄五郎様      | 大鳥圭介の嫡孫圭三の借金を肩代わりした前田庄五郎に宛てた佐藤甫の書翰。銀行小切手受け取りの礼状と領収証。  | 状   | 2  | 金五三銭余領収書。   | 封筒とも              | 紀要<br>21号掲<br>載予定 | 04586 |
| 昭和八年一月一八日   | 一九三三       | 書簡  | 川町十一<br>飯塚徳  | 市内牛込区加賀町二一二三<br>大鳥圭三様   | 来翰と品々拝受の礼状。   | はがき | 1  |   |                   | 紀要<br>21号掲<br>載予定 | 04597 |

| 年月日          | 西暦   | 史料名 | 作成(差出)              | 宛名(受取)                     | 内容  | 形態 | 数量 | 備考                                     | 付記事項 | 紀要等<br>掲載物<br>番号 | 請求<br>番号 |
|--------------|------|-----|---------------------|----------------------------|---|----|----|--|------|------------------|----------|
| 昭和(一〇)年二月一九日 | 一九四五 | 書簡  | 圭三                  | 百合子殿・純子殿                   | 大島圭介の嫡孫圭三から妹の百合子・純子に宛てた書簡。圭三の弟豊彦の定期預金通帳や強制疎開の際処分した物品などについて。 | 状  | 3  | 年次不載。文中の記載から昭和二〇年と推定。「野村生命小田原支部」の便箋使用。 |      |                  | 045-100  |
| 昭和五五年四月二五日   | 一九八〇 | 書簡  | 立川市羽衣町二一七十一<br>阿部精一 | 港区麻布台三十四<br>一〇三号<br>大島蘭三郎様 | 阿部孫十郎が麻布区兵事義会資金募集に尽力したことに對する謝状。                             | 状  | 4  | 謝状コピー一点、謝状写し一点、文政一一年江戸大絵図コピー一点、手紙一点。   | 封筒とも |                  | 045-137  |

三、日記・記録

|                    |      |                 |        |  |   |    |     |  |                        |                            |         |         |
|--------------------|------|-----------------|--------|--|---|----|-----|--|------------------------|----------------------------|---------|---------|
| 慶応四年               | 一八六八 | 南柯紀行上           | (大島圭介) |  | 南柯紀行上                                   | 冊  | 1   |  |                        | 紀要18号                      | 045-142 |         |
| 慶応四年               | 一八六八 | 南柯紀行中           | (大島圭介) |  | 南柯紀行中                                   | 冊  | 1   |  |                        |                            | 045-143 |         |
| 慶応四年               | 一八六八 | 南柯紀行下           | (大島圭介) |  | 南柯紀行下                                   | 冊  | 1   |  |                        |                            | 045-144 |         |
| 慶応四年               | 一八六八 | 南柯紀行(木箱)        | (大島圭介) |  | 南柯紀行上・中・下三冊の入っていた木箱。                    | 木箱 | 1   |  | 箱蓋割れ。「四拾号」「三三五」の紙シールあり | 大島蘭三郎様の付箋取納。               |         | 045-141 |
| 慶応四年               | 一八六八 | (五稜郭の戦いなど)書上    | (大島圭介) |  | 南柯紀行写し。                                 | 状  | 196 |  | 状が二折になつて重なつてゐる。        |                            | 045-35  |         |
| 明治五〜六年             | 一八七二 | (イギリス・アメリカ滞在)記録 | (大島圭介) |  | イギリス・アメリカ滞在中の記録、明治五年八月三日〜翌年一〇月一四日の記述など。 | 冊  | 1   |  |                        | 福本龍一「明治五・六年大島圭介の英・米産業視察日記」 | 045-22  |         |
| 明治二二年三月一九日、二二年二月一日 | 一八八八 | (東北・茨城など)旅行記録   | (大島圭介) |  | 東北・茨城など旅行中の記録、明治二二年三月二九日〜明治二二年二月一日      | 冊  | 1   |  |                        |                            | 045-33  |         |
| 明治三二               | 一八八九 | (北海道旅行)記録       | (大島圭介) |  | 北海道旅行中の記録、明治二二年七月一四日〜八月一日               | 冊  | 1   |  |                        |                            | 045-23  |         |
| 明治三三年              | 一八九九 | 吾家之歴史           | (大島圭介) |  | 日記、二月二八日圭介六八回の誕辰にて小宴会の記述など。             | 冊  | 1   |  |                        |                            | 045-34  |         |
| 明治三四年              | 一九〇一 | 明治三十四年當用日記      | (大島圭介) |  | 日記、五月五日裕仁親王御命名式の記述など。                   | 冊  | 1   |  |                        |                            | 045-25  |         |
| 明治三五年              | 一九〇二 | 明治三十五年當用日記      | (大島圭介) |  | 詩歌書上の雑記帳として活用。                          | 冊  | 1   |  |                        |                            | 045-26  |         |
| 明治三六年              | 一九〇三 | 明治三十六年當用日記      | (大島圭介) |  | 日記、五月七日・九日徳川慶喜公の記事、落書冊あり。               | 冊  | 1   |  |                        |                            | 045-27  |         |

| 年月日       | 西暦   | 史料名                       | 作成(差出)   | 宛名(受取) | 内容  | 形態 | 数量 | 備考                       | 付記事項 | 紀要等<br>掲載物 | 請求<br>番号 |
|-----------|------|---------------------------|----------|--------|---|----|----|--------------------------|------|------------|----------|
| 明治三十九年    | 一九〇五 | 明治三十九年<br>當用日記            | (大鳥圭介)   |        | 日記。一月二〇日乃木大将凱旋の記事など。                                    | 冊  | 1  | 鉛筆書き。(博文館日記帳)            |      |            | 045-28   |
| 明治四〇年     | 一九〇七 | 明治四十年<br>當用日記             | (大鳥圭介)   |        | 日記。三月三十一日山内長人來話の記事など。                                   | 冊  | 1  | 鉛筆書き。(博文館日記帳)            |      |            | 045-29   |
| 明治四一年     | 一九〇八 | 明治四十一年<br>當用日記            | (大鳥圭介)   |        | 日記。一月四日枢院參集、訪赤松範一宅の記述など。                                | 冊  | 1  | 鉛筆書き。(博文館日記帳)            |      |            | 045-30   |
| 明治四二年     | 一九〇九 | 明治四十二年<br>當用日記            | (大鳥圭介)   |        | 日記。   | 冊  | 1  | 鉛筆書き。(博文館日記帳)表紙欠。付箋挟込あり。 |      |            | 045-31   |
| 明治四三年     | 一九一〇 | 明治四十三年<br>當用日記<br>(在台湾日記) | (大鳥圭介)   |        | 日記。大鳥富士太郎に関する記事が散見。                                     | 冊  | 1  | 鉛筆書き。(博文館日記帳)            |      |            | 045-32   |
| 明治二八年     | 一八九四 | 紙屑可古                      | (大鳥富士太郎) |        | 富士太郎在台湾日記。六月九日台湾總督府開庁式の記述など。三月三日、八月三日、台湾ニ関スル諸問題と明治三二年日記 | 冊  | 1  | 鉛筆書き。                    |      |            | 045-24   |
| 明治三二年一月一日 | 一八九七 | 紙屑可古                      | 富士太郎(大鳥) |        |   | 冊  | 1  | 綴切れあり。                   |      |            | 045-45   |

四、写真

|            |      |                                       |  |  |  |               |             |                  |                        |   |                            |
|------------|------|---------------------------------------|--|--|--|---------------|-------------|------------------|------------------------|---|----------------------------|
| 明治四四年六月二〇日 | 一九一一 | 大鳥圭介肖像<br>銀板写真複製<br>大鳥圭介肖像<br>写真<br>帳 |  |  | 大鳥圭介肖像銀板写真複製<br>大鳥圭介晩年の眼鏡をかけた肖像写真<br>大鳥圭介肖像・葬儀写真 | 写真<br>写真<br>冊 | 1<br>1<br>1 | 幕末期のもの複製。<br>額付。 | 「大鳥蘭三郎」<br>のラベル貼<br>付。 | 学習院<br>大学史<br>料館編<br>「幕末明<br>治の古<br>写真」 | 045-47<br>045-49<br>045-48 |
|------------|------|---------------------------------------|--|--|--|---------------|-------------|------------------|------------------------|---|----------------------------|

五、書籍

|         |        |              |                              |  |  |   |                                |                        |  |  |       |
|---------|--------|--------------|------------------------------|--|--|---|--------------------------------|------------------------|--|--|-------|
| 壬辰閏月三日  | (一八三三) | 東坡仏印語録<br>問答 |                              |  | 内題「東坡仏印禪師語録問答目録」朱筆「壬辰閏月廿三日之夜 蕉隱手記」あり。                            | 綴 | 1<br>(19丁)                     | 「南畝文庫」寺田実図書印」朱印あり。綴切れ。 |  |  | 045-8 |
| 万延元年一〇月 | 一八六〇   | 萬国綜覧 全       | 神仙逸士鵬<br>圭介識于藍<br>青書屋南軒<br>下 |  | 世界各国の緯度経度、面積の一覽表。  | 鋪 | 1                              |                        |  |  | 045-4 |
| 元治二年三月  | 一八六四   | 官版 山砲演<br>武全 | 陸軍所                          |  | 煩砲学書。「例言 原書ハ「インストリユクシヨ<br>ン、ホル、モウンテン、アルチレリ」ト題シ、<br>山砲教練ト云ヘル義ナリ」。 | 冊 | 1<br>(木版<br>51丁、<br>銅板図<br>4丁) |                        |  | 「国書<br>録」高<br>知、旧<br>海兵、<br>旧彰<br>考、島<br>田貞一 | 045-1 |

| 年月日          | 西暦   | 史料名              | 作成(差出)                        | 宛名(受取)   | 内容   | 形態       | 数量          | 備考   | 付記事項                               | 紀要等<br>掲載物   | 請求<br>番号 |
|--------------|------|------------------|-------------------------------|----------|--|----------|-------------|------|------------------------------------|--|----------|
| 明治八年八月       | 一八七五 | 蘭人直伝軍鼓<br>譜点     | 江戸定詰御<br>足軽 大番<br>組覚小幡<br>律之助 | 多ヶ谷市左衛門殿 | 裏表紙に「此秘伝他言聞宣者也 多ヶ谷市左衛門」とあり。／軍鼓の譜点の楽譜。  | 冊        | 1<br>(39丁)  |      | 一一・七×<br>二五・二                      |  | 0457     |
| 明治八年八月       | 一八七五 | 暹羅紀行 完           | 工部省                           |          | 印刷。大島圭介が奥国セツファア公使に同行した際の報告書。シヤムへの水陸巡歴及び各地目撃の景況、地理・王系・政体・宗門・風俗・盤谷(バンコク)・風土等について。              | 冊        | 1<br>(138丁) |      | 一一・七×<br>一七・四                      | 付図と<br>もに書<br>会図書<br>館デジ<br>タルラ<br>イブラ<br>リーで<br>閲覧可<br>能。 | 0452     |
| (明治八年八月)     | 一八七五 | 暹羅紀行 図           |                               |          | 印刷。一〜四図あり。   | 折込<br>綴帖 | 1           | 虫損大。 | 最大四九・三<br>×四五・七<br>(一九・五×<br>二七・〇) | 国会図<br>書館デ<br>ジタル<br>ライブ<br>ラリー<br>で閲覧<br>可能。              | 0455     |
| 明治二年         | 一八七九 | 木醋編              | 開拓使                           |          | 印刷。「明治七年大島圭介報文」。木醋製造説明書。<br>東京の沿革について。地図彩色   | 冊        | 1<br>(11頁)  |      | 一六×<br>二四・七                        |  | 0453     |
| 明治一九年三月二四日出版 |      | 武蔵国並東京<br>古今沿革図識 | 大島圭介<br>著・東京丸<br>善商社蔵版        |          | 一丁目に挟込状(「地稅賦課法 地價賦課収集綴賦課 仏国英国」についての書上げ)あり。安政四年に大島が煙草商伊勢谷宗兵衛の依頼を受けて翻訳したもの。筆写・伝来などの経緯について記載あり。 | 鋪        | 1<br>(170丁) | 冊子とも | 七七×一〇四                             |  | 045160   |
| 明治一九年五月      | 一八九六 | 地球儀用法<br>完       | 圭介手識                          |          |  |          |             |      | 一九・〇×<br>二六・二                      | 『国書<br>総目録』<br>静嘉<br>大京<br>都府、<br>磯川、<br>旧彰考               | 0459     |

六、系図・家譜

|            |      |                  |        |  |   |   |            |                                       |  |  |        |
|------------|------|------------------|--------|--|---|---|------------|---------------------------------------|--|--|--------|
| 明治三十三年一月二日 | 一九〇〇 | 大鳥家系図・<br>大鳥家譜   | (大島圭介) |  | 系図冒頭朱書「朱卦引ノ分爵位届へ差出ス明治三十三年十一月二十一日」とあり。家譜は「土田泰撰」。 | 冊 | 1<br>(34丁) | 昭和五十三年九月二四日付朝日新聞切抜き「大島圭介の手紙見つかる」挟み込み。 | 一一・六〇×<br>一三・二<br>「慶應大学<br>三四」ラベル<br>あり。 |  | 0456   |
|            |      | (大鳥家系図・<br>大鳥家譜) |        |  | 0456のノマール                                       | 状 | 35         |                                       |  |  | 045132 |
|            |      | (大鳥家系譜<br>下書)    |        |  | 大鳥家譜下書き   | 状 | 2          | 墨書                                    |  |  | 045135 |

七、絵画・和歌

| 年月日           | 西暦   | 史料名                   | 作成(差出)   | 宛名(受取) | 内容   | 形態    | 数量 | 備考   | 付記事項      | 紀要等<br>掲載物 | 請求<br>番号 |
|---------------|------|-----------------------|--|--------|--|-------|----|--|-----------|------------|----------|
| 昭和一二(一三年三月)三月 | 一九三七 | 祖父圭介の遺稿に就て            | 大島蘭三郎  |        | 鶴の丸紋原図<br>印刷 大鳥圭介略歴  | 状     | 1  | 「大鳥貝二郎 福本伝之助は圭介翁に大変お世話になった人です。二人共子供のときから二十四才位まで御世話になりました」○印は今回色々世話する人になっております」のメモ書きあり。 |           |            | 045-133  |
| 昭和一二(一三年三月)三月 | 一九三七 | 紋本 大鳥家                |  |        | 印刷 大鳥圭介略歴  | 状     | 1  | 「山崎有信著 大鳥圭介伝による。」とあり   |           |            | 045-134  |
| 昭和一二(一三年三月)三月 | 一九三七 | 祖父圭介の遺稿に就て            | 大島蘭三郎  |        | 「中外医事新報」第一千二百五十一・一二三號別刷  | 冊     | 1  |  |           |            | 045-136  |
| 昭和一二(一三年三月)三月 | 一九三七 | 趣味講座 祖父圭介の自伝に就いて      | 東京・杉並・井荻町二ノ一二五<br>大島蘭三郎                          |        | 「日本医事新報」第八六五号のコピー  | 状     | 6  | 二枚一組で三部あり。   |           |            | 045-131  |
| 明治二七年七月       | 一九二四 | 箱館大戦争之図               | 神田須田町 沢村屋清吉 板・永嶋孟 齋筆・彫工 銀                        |        | 箱館大戦争之図(三枚一組錦絵)  | 三枚つづり | 3  |  | 包紙とも      |            | 045-107  |
| 明治二七年七月       | 一九二四 | 日清韓談判之図               | 日本橋馬喰町三丁目十九番地 印刷兼発行者 井上茂兵衛・軽茂画・彫工                |        | 日清韓談判之図(三枚一組錦絵)  | 三枚つづり | 3  |  | 包紙とも      |            | 045-106  |
| 明治二七年七月三〇日印刷  | 一九二四 | 大鳥公使大院君ヲ擁護シ入閣ノ際韓兵砲発之図 | 著作兼印刷 発行者京橋区本材木町三丁目二六番地 鈴木金輔 発行所 日本橋区新日本橋区新加藤福次郎 |        | 大鳥公使大院君ヲ擁護シ入閣ノ際韓兵砲発之図  | 状     | 1  | 八月二日発行   | 五九・八×四四・〇 |            | 204-3    |
|               |      | (権中納言敦忠・藤原高光の和歌筆写)    |  |        | 「あひみでののちのころにくらふればむかしはものを おもはさりけり」「かくばかりへがたに(ママ)みゆるよのなかにうらやましくもすめるつきかな」 | 状     | 1  |  |           |            | 045-92   |
|               |      | (山辺赤人和歌筆写)            |  |        | 神岳に登りて作る歌  | まくり   | 1  | 絹本劣化、断裂  |           |            | 045-93   |

| 年月日 | 西暦 | 史料名<br>(和歌草稿<br>色紙) | 作成(差出) | 宛名(受取) | 内容          | 形態<br>色紙 | 数量 | 備考 | 付記事項 | 紀要等<br>掲載物 | 請求<br>番号 |
|-----|----|---------------------|--------|--------|-------------|----------|----|----|------|------------|----------|
|     |    |                     |        |        | 大正天皇年祭時のものか |          | 2  |    |      |            | 045-101  |

八、領収書等

|            |      |          |                       |              |                    |   |   |                        |  |  |         |
|------------|------|----------|-----------------------|--------------|--------------------|---|---|------------------------|--|--|---------|
| 明治一四年一月一八日 | 一八八一 | 青山墓地券    | 東京府赤坂区役所(印)           | 荏原郡白金村五百廿三番地 | 青山墓地券(二〇坪・地価金四〇〇円) | 状 | 1 |                        |  |  | 045-36  |
| 昭和七年二月二四日  | 一九三二 | 領収証      | 東京市協橋区銀座七丁目三番地丹羽一郎(印) | 前田庄五郎殿       | 大鳥圭三立替分金五〇円領収      | 状 | 1 |                        |  |  | 045-102 |
| 昭和一七年七月二三日 | 一九四二 | 特別当座預金通帳 | 東京市牛込区通寺町株式会社第一銀行牛込支店 | 大鳥良子殿        | 大鳥良子名義             | 冊 | 1 | 「第一銀行」は抹消され「帝国銀行」と印あり。 |  |  | 045-103 |
| 二月二四日      |      | 記(受取)    | 徳本(印)                 | 前田様          | 金六〇円の内金五〇円受取       | 状 | 1 |                        |  |  | 045-99  |

九、上郡関係

|              |      |                            |                                |                           |                        |    |    |                         |      |  |             |
|--------------|------|----------------------------|--------------------------------|---------------------------|------------------------|----|----|-------------------------|------|--|-------------|
| 昭和四四年四月      | 一九六九 | 郷土の偉人<br>大鳥圭介の遺徳を顕彰しよう(印刷) | 正二位勲一等男爵 大鳥圭介翁顕彰会発起人 上郡町長川本勲ほか |                           | 大鳥圭介銅像建立につき町民へ参画呼びかけの旨 | 状  | 1  |                         |      |  | 045-116     |
| (昭和四五年二月二〇日) | 一九七〇 | (大鳥圭介銅像建立記念写真)             |                                |                           | 後列右から三番目は大鳥蘭二郎カ。       | 写真 | 1  |                         |      |  | 045-113     |
| (昭和四五年二月二〇日) | 一九七〇 | (大鳥家関係者記念写真)               |                                | 前列中央大鳥蘭二郎                 |                        | 写真 | 1  |                         |      |  | 045-114     |
| 昭和(四五)年      | 一九七〇 | 郷土の偉人<br>大鳥圭介の生涯(小冊子)      | 大鳥圭介翁顕彰会                       |                           |                        | 印刷 | 1  |                         |      |  | 045-115・117 |
| 昭和(四五)年      | 一九七〇 | 大鳥圭介翁顕彰会委員名簿               |                                | 会長川本勲ほか副会長四名・委員一四一名       |                        | 状  | 1  |                         |      |  | 045-129     |
| 昭和四五年二月一〇日   | 一九七〇 | 大鳥圭介先生銅像建設事業報告             | 大鳥圭介先生顕彰会会長川本勲                 | 銅像完成につき寄付金・支出金内訳報告        |                        | 状  | 1  |                         |      |  | 045-117     |
| 昭和四五年二月二〇日   | 一九七〇 | 神戸新聞                       |                                | 大鳥圭介銅像除幕式記事               |                        | 新聞 | 1  |                         |      |  | 045-118     |
| 昭和四五年二月二〇日   | 一九七〇 | 赤穂新聞                       |                                | 大鳥圭介銅像除幕式記事               |                        | 新聞 | 1  | 端に「中野明」「大鳥蘭二郎様」のペン書きあり。 |      |  | 045-120     |
| 昭和(四五)年      | 一九七〇 | 赤穂行写真                      |                                | 大鳥圭介除幕式の時の写真など。うちカラー写真一枚。 |                        | 写真 | 22 |                         | 封筒とも |  | 045-125     |

| 年月日          | 西暦   | 史料名          | 作成(差出)                       | 宛名(受取)                                     | 内容                               | 形態 | 数量 | 備考               | 付記事項 | 紀要等<br>掲載物 | 請求<br>番号 |
|--------------|------|--------------|------------------------------|--|----------------------------------|----|----|------------------|------|------------|----------|
| 昭和四六年一月二〇日   | 一九七一 | 大島圭介銅像<br>写真 | 練馬区向山<br>二丁目十ノ<br>二矢野秀徳      | 港区飯倉片町六<br>光恵マンション<br>一〇三号大島蘭三<br>郎様       | 大島圭介銅像製作完成時写真二枚。                 | 写真 | 2  |                  | 封筒とも |            | 045-124  |
| 昭和四六年一月二〇日   | 一九七一 | 書簡           | 矢野                           | 大島蘭三郎様                                     | 銅像制作資料として借用の写真返却につき              | 状  | 1  | 045-124に同封と思われる。 |      |            | 045-122  |
| 昭和四六年一月二四日   | 一九七一 | 書簡           | 福本久                          | 大島様  | 銅像完成時の出来につきその時撮影した写真を<br>送る旨。    | 状  | 1  |                  |      |            | 045-123  |
| 昭和(四八年)四月二二日 | 一九七三 | 書簡           | 田村一                          | 大島なを様                                      | 四月二二日の大島教授謝恩会スナップ写真御恵<br>送につきお礼。 | 状  | 2  |                  |      |            | 045-130  |
| 昭和五四年九月一〇日   | 一九七九 | 書簡           | 兵庫県赤穂<br>郡上郡町上<br>郡上郡町役<br>場 | 東京都港区麻布台<br>三―四―四光恵マ<br>ンション一〇三号<br>大島蘭三郎殿 | 電話連絡を受けた写真送付の旨、大島圭介銅像<br>写真五枚同封。 | 状  | 1  |                  | 封筒とも |            | 045-139  |